連結財務書類4表を公表します

連結財務書類4表とは、町の普通会計のほかに国民健康保険などの特別会計や水道事業会計に加え、町が構成団体となっている一部事務組合・広域連合と町が出資している法人などの関係団体を、一つの行政サービス実施主体としてみなし、その資産および負債、行政コスト、資金収支の状況を明らかにするものです。平成21年度決算に基づき、笠松町連結財務書類4表を公表します。

貸借対照表(バランスシート)

平成22年3月31日現在 (単位:千円)

決算期末の財政状態を明らかにするためのものです。左記の資産の部は、これまでに取得した財産の総額を記載し、右側には資産を形成する際に要した財源の調達状況を表わしています。

資産の部		負債の部	
1. 公共資産	38,608,202	1. 固定負債	12,045,422
固定資産(有形・売却可能)		(将来の負担)	
2. 投資等	2,098,824	2. 流動負債	868,137
うち基金など	1,890,377	(来年度の負担)	
うち出資金・その他	208,447	負債合計	12,913,559
3. 流動資産	1,949,557	純資産の部	
うち資金	→1,870,906	純資産合計	29,743,024
うち未収金・その他	78,651	(これまでの世代の負担)	
資産合計	42,656,583	負債および純資産合計	42,656,583

行政コスト計算書

経常的な費用と収入

[自平成21年4月 1日]
[至平成22年3月31日]

(単位:千円)

行政サービスに費やされた費用(コスト)と、その行政サービスに対する直接の対価(使用料など)を表わしたものです。経常行政コスト合計から経常収益合計を差し引いたものが純経常行政コストとなります。

経常費用		
1. 人にかかるコスト	人件費など	1,742,997
2. 物にかかるコスト	物件費、減価償却費、維持補修費など	2,367,939
3. 移転支的コスト	社会保障給付、補助金など	7,001,436
4. その他のコスト	支払利息など	411,490
合計		11,523,862
経常収益		
使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金・保険料・事業収益など		3,696,884
純経常行政コスト (経常費用ー経常収益)		7,826,978

純資産変動計算書

純資産の増減

[自平成21年4月 1日]
[至平成22年3月31日]

(単位:千円)

資産と負債の差額である純資産の1年間の変動内容を表わしたものです。

期首純資産残高		30,425,784
純経常行政コスト		→△7,826,978
一般財源	町税、地方交付税など	4,050,107
補助金等受入	国県補助金など	3,101,464
その他	臨時損益、資産評価替による変動など	△7,353
期末純資産残高		29,743,024

資金収支計算書

現金の動き

[自平成21年4月 1日]
[至平成22年3月31日]

(単位:千円)

1年間の資金の動きを明らかにする計算書です。経常的収支の部、公共資産整備収支の部、投資・財務的収支の部に分けて表わしています。

期首資金残高		2,324,820
1. 経常的収支	(収入) 町税など(支出) 人件費・社会保障給付など	727,288
2. 公共資産整備収支	(収入) 国県補助金など(支出) 公共資産整備費など	△367,063
3. 投資・財務的収支	(収入) 国県補助金など(支出) 地方債償還費など	△814,139
当期収支		△453,914
期末資金残高		1,870,906

※財務書類4表(普通会計・連結ベース)の詳細は、町ホームページと役場1階の行政情報資料コーナーで公表しています。